

熱帯雨林と肩をならべる

世界の海の総面積にサンゴ礁が占める割合が1%に満たないにもかかわらず、海洋生物の種類の約1/4、魚に限ってみれば60%以上の種類がサンゴ礁に生息しているといわれています。そのため、サンゴ礁は「海の熱帯雨林」とも呼ばれる、生物多様性の高い貴重な生態系です。

高い生物多様性が自慢です

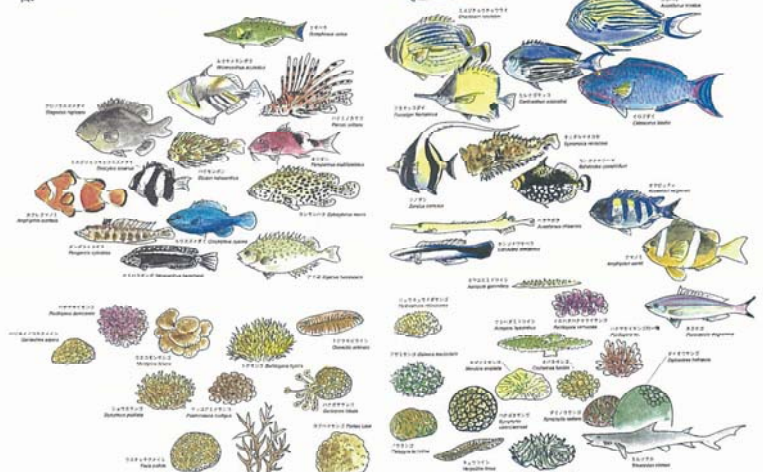
◆沖縄の豊かな自然の象徴

実際に琉球列島のサンゴ礁を覗いてみると、まずはスズメダイやチョウチョウウオなど色とりどりの魚の種類の豊富さに驚かされます。そして、ウミガメやウミヘビ、エビやカニなどのおなじみの動物のほか、イソギンチャクやクラゲなどの刺胞動物、

ナマコやヒトデ、ウニなどの棘皮動物、シャコガイやホラガイなどの軟体動物、アオサやアマモなどの海藻類、その海藻を食べておおよそ1mにまで育つジュゴン、はたまた星砂として知られる1mmほどの有孔虫など微細な生き物たちが、この

複雑な生態系を築いているのです。大小160の島々が南北に長く、広範囲に連なっているため、地域ごとに生物相が異なり、世界でもまれに見る豊かな生態系が育まれているのです。

(画:西平守孝、日本のサンゴ礁、環境省)



ウミシヨウブ



ホヤの仲間



シャコガイの仲間



ウミガメの仲間



ウミヘビの仲間



カサノリとイノスギナ



マダラトビエイ